

● コイルマスター正常運転時、加工機が動かない。

コイルマスターは正常に動作しているが、加工機側で線台異常を検出する。

● 点検箇所

- ① 基板端子台 T 1
- ② 接続信号線

● チェック方法

- ① コイルマスター正常運転（緑（RUN）ランプ点灯）時
COM-NO間がオープン（OFF）
COM-NC間がクローズ（ON）になっているか？確認
★必ず基板に接続されている線を外し基板端子台で確認すること

なっていない→基板の故障
なっている→②項へ

② 接続信号線の確認

接続線を基板端子から外した状態で導通を確認すること

COM-NCを使用している場合

導通なし→接続線の不良（断線）

導通あり→接続線正常、加工機メーカーへお問い合わせください。

COM-NOを使用している場合

導通あり→接続線の不良（ショート）

導通なし→接続線正常、加工機メーカーへお問い合わせください。

接続線両端末COM-COM間及びNO-NO間及び

NC-NC間の導通確認

導通なし→接続線不良（断線）

導通あり→接続線正常、加工機メーカーへお問い合わせください。

★専用信号接続コードの異常信号接続端子は下記の通りです。

旭精機工業株式会社製 →COM-NC
株式会社板屋製作所製 →COM-NO
オリイメック株式会社製 →COM-NC
新興機械工業株式会社製 →COM-NC
株式会社大平製作所製 →COM-NC

